

所属 建築学部		職名 教授	氏名 古田 智基	学位 博士（工学）	兼任している研究科 無し
研究分野 構造解析、構造設計、耐震設計			研究分野のキーワード 構造解析、構造設計、耐震設計、構造工学、耐震構造		
学歴					
職歴					
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
EVALUATION OF SEISMIC PERFORMANCE OF BRACED SHEAR WALL WITH L-SHAPED RACE CONNECTOR	共著	2021年08月	World Conference on Timber Engineering Proceedings of the World Conference on Timber Engineering 2020 TE0322	TOMOKI FURUTA , MASATO NAKAO	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
SEISMIC PERFORMANCE PREDICTION OF PARTICULAR BRACED SHEAR WALL USING CONVENTIONAL BRACE CONNECTOR	共著	2021年08月	World Conference on Timber Engineering Proceedings of the World Conference on Timber Engineering 2020 TE0352	TOMOKI FURUTA , MASATO NAKAO	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
Experimental and analytical studies on mechanical performance of innovative energy-dissipating hold-down for CLT structures	共著	2022年01月	Elsevier Ltd. Construction and Building Materials Volume 317 (2022) 125966	Jiawei Chen , Haibei Xiong , Tomoki Furuta , Yurong Lu , Nadeem Abbas	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
筋かい金物の形状が引張筋かい耐力壁の耐震性能に及ぼす影響	共著	2022年02月	日本建築学会 日本建築学会技術報告集 Vol.28 No.68	中尾方人・古田智基	185頁～190頁
STRUCTURAL PERFORMANCE EVALUATION OF A TIMBER HOUSE USING NEW CONSTRUCTION SYSTEM WITH CLT HORIZONTAL DIAPHRAGM	共著	2023年06月	World Conference on Timber Engineering Proceedings of the World Conference on Timber Engineering 2023	TOMOKI FURUTA, MASATO NAKAO	2739頁～2744頁
A STUDY ON THE SEISMIC PERFORMANCE OF SHEAR WALLS UNDER A DYNAMIC LOAD	共著	2023年06月	World Conference on Timber Engineering Proceedings of the World Conference on Timber Engineering 2023	TOMOKI FURUTA , MASATO NAKAO	2731頁～2738頁
静的増分解析による高性能筋かい金物を用いた引張筋かい耐力壁の復元力特性の推定精度	共著	2023年06月	日本建築学会 日本建築学会技術報告集 Vol.29 No.72	古田智基・中尾方人	765頁～770頁
複数回の地震を受ける木造住宅の最大応答変位予測に関する研究	共著	2023年11月	日本地震工学会 日本地震工学シンポジウム論文集 G414 20	古田智基・中尾方人	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
Mechanical properties and analytical model of a novel dissipative angle bracket for CLT structures	共著	2023年12月	Elsevier Ltd. Engineering Structures Volume 300 (2024) 117229	Jiawei Chen a , Zhenyu Peng b , Tomoki Furuta c , Haibei Xiong	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
Experimental research on lateral performance of CLT shear walls with novel dissipative angle brackets and hold-downs	共著	2024年02月	Elsevier Ltd. Journal of Building Engineering Volume 86 (2024) 108929	Jiawei Chen , Ruiming Wang , Tomoki Furuta , Haibei Xiong	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
Full-scale shaking table tests of cross-laminated timber structures adopting dissipative angle brackets and hold-downs with soft-steel and rubber	共著	2024年06月	Elsevier Ltd. Engineering Structures118292 Volume 313 (2024) 118292	Jiawei Chen , Zhe Wu , Yingda Zheng , Tomoki Furuta , Haibei Xiong	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
An innovative energy-dissipation angle bracket for CLT structures: Experimental tests and numerical	共著	2024年06月	Elsevier Ltd. Engineering Structures118381 Volume 314 (2024) 118381	Jiawei Chen , Nadeem Abbas , Jinyu Sun , Tomoki Furuta , Yang Wei , Haibei Xiong	共同研究につき本人担当部分抽出不可能

analysis					
Seismic performance of CLT shear walls anchored with energy-dissipation connections: Experimental investigation and parametric analysis	共著	2025年02月	Elsevier Ltd. Engineering Structures Volume 331 (2025) 120011	Jiawei Chen , Zhen He , Yang Wei , Ruiming Wang , Tomoki Furuta , Haibei Xiong	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
EFFECT OF SPRAY-APPLIED RIGID POLYURETHANE FOAM ON SEISMIC PERFORMANCE OF TIMBER HOUSE	共著	2025年06月	World Conference on Timber Engineering Proceedings of the World Conference on Timber Engineering 2025	TOMOKI FURUTA, MASATO NAKAO	3930頁～3935頁
木造建築物を対象とした限界耐力計算・時刻歴応答解析webアプリケーションの開発（査読審査中）	共著	2026年04月	日本建築学会 日本建築学会技術報告集	脇田健裕・宮津裕次・中尾方人・古田智基・高口洋人	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
学会発表					
高耐力・高靱性筋交い金物を用いた筋交い耐力壁の耐震性能および各部の変形	共同発表	2021年09月	日本建築学会学術講演梗概集 Vol. 構造 P.241～P.242(日本建築学会大会（東海）)		
水平構面にCLTを用いた在来軸組構法木造住宅の開発 その1 新構法の概要とCLTの2方向曲げ実験	共同発表	2021年09月	日本建築学会学術講演梗概集 Vol. 構造 P.239～P.240(日本建築学会大会（東海）)		
木造住宅在来軸組構法における耐震要素の動的特性	共同発表	2022年03月	日本建築学会九州支部研究報告集 第61号 P.477～P.480(日本建築学会九州支部研究報告会)		
水平構面にCLTを用いた在来軸組構法木造住宅の開発 その2 モデル住宅の増分解析	共同発表	2022年09月	日本建築学会学術講演梗概集 Vol. 構造 P.417～P.418(日本建築学会大会（北海道）)		
在来軸組構法耐力壁の動的耐震性能評価に関する研究 その1 耐力壁の振動台実験	共同発表	2022年09月	日本建築学会学術講演梗概集 Vol. 構造 P.495～P.496(日本建築学会大会（北海道）)		
在来軸組構法耐力壁の動的耐震性能評価に関する研究 その2 応答スペクトルによる最大変位の推定法	共同発表	2023年09月	日本建築学会学術講演梗概集 Vol. 構造 P.635～P.636(日本建築学会大会（近畿）)		
硬質ウレタンフォームを吹き付けた合板耐力壁の耐震性能	共同発表	2024年08月	日本建築学会学術講演梗概集 Vol. 構造 P.335～P.336(日本建築学会大会（関東）)		
木造住宅用制震装置の静的せん断実験	共同発表	2025年09月	日本建築学会学術講演梗概集 Vol. 構造 P.537～P.538(日本建築学会大会（九州）)		
高減衰ゴム・摩擦ハイブリッドダンパーの構造性能に関する研究	共同発表	2026年03月	日本建築学会関東支部研究報告集 P.413～P.416(日本建築学会関東支部研究報告会（東京）)		
作品・制作等					
その他業績					
水平構面にCLTを用いた木造住宅の構造性能	共同	2021年12月	西日本工業大学紀要 第51巻	古田智基・中尾方人	P.37～P.42
CLTを使った新しい木造住宅用構造システム「在来軸組CLTフラットスラブ構法」の開発	共同	2022年03月	2022年3月 - 2023年4月	建築研究開発コンソーシアム 研究支援	研究代表
木造住宅軸組構法耐震要素の動的特性評価	共同	2022年09月	西日本工業大学紀要 第52巻	古田智基・中尾方人	P.71～P.76
在来軸組CLTフラットスラブ構法モデル住宅の構造性能	共同	2022年09月	西日本工業大学紀要 第52巻	古田智基・中尾方人	P.35～P.40
中規模木造用高耐震・制震化システムの開発	共同	2023年04月	2023年4月 - 2025年3月	建築研究開発コンソーシアム 研究支援	研究代表
合板耐力壁における硬質ウレタンフォームの耐震性への寄与	共同	2024年10月	西日本工業大学紀要 第54巻	古田智基・中尾方人	P.21～P.26

脱炭素社会を実現する木造ビルの普及促進に資する高耐震・制震化デバイス研究開発	共同	2025年04月	2025年4月 - 2026年3月	(公財)JKA 自転車等機械振興事業に関する補助事業	研究代表
産学共同研究「レジリエント木造住宅システムの開発」	共同	2025年04月	2025年4月 - 2017年3月	クラブハウ・ACLIVE・福地建装・アルキテック	研究代表
被災した木造住宅を対象とした耐震性能回復技術の有効性検証	共同	2025年06月	2025年6月 - 2026年10月	(一財)住総研 研究・実践助成	研究代表
合板耐力壁における硬質ウレタンフォームの耐震性能への寄与	共同	2026年03月	愛知淑徳大学論集 建築学部篇 vol.1	古田智基・中尾方人	P.32～P.39

学会等における主な活動

受賞		
2018年04月	建材設備大賞 特別賞	主催：日経アーキテクチュア・日経ホームビルダー
2018年10月	超モノづくり部品大賞 生活関連部門賞	主催：モノづくり日本会議・日刊工業新聞社
2021年02月	建築研究開発コンソーシアム 建築・住宅・都市関連技術アイデアコンペ 優秀賞	CLTを使った新しい木造住宅用構造システム「在来軸組CLTフラットスラブ構法」の開発
2023年05月	建築研究開発コンソーシアム 建築・住宅・都市関連技術アイデアコンペ 佳作	中規模木造用高耐震・制震化システムの開発
2025年04月	Engineering Structures 2024 Best Paper Award	Full-scale shaking table tests of cross-laminated timber structures adopting dissipative angle brackets and hold-downs with soft-steel and rubber Volume 313, 15 August 2024, 118292
2026年02月	建築研究開発コンソーシアム 建築・住宅・都市関連技術アイデアコンペ 優秀賞	巨大地震後の大破木造住宅におけるレジリエントシステム技術

所属学会

1987年04月～1998年03月	日本コンクリート工学協会	
1987年04月～現在	日本建築学会	
2018年04月～現在	日本CLT協会	
2018年04月～現在	建築研究開発コンソーシアム	
2022年04月～現在	日本建築構造技術者協会	

社会活動

2021年04月～2023年03月	建築研究開発コンソーシアム「CLTを使った新しい木造住宅用構造システムの開発」研究会委員長
2023年04月～2026年05月	建築研究開発コンソーシアム「中規模木造用高耐震・制震化システムの開発」研究会委員長
2025年04月～現在	日本建築学会振動運営委員会 免震部材WG
2025年05月～現在	産学連携共同研究「硬質ウレタンフォームによるレジリエント技術開発」座長 愛知淑徳大学、早稲田大学、横浜国大大学、一般財団法人建材試験センター クラブハウ、アルキテック、福地建装、ACLIVE他
2026年05月～現在	建築研究開発コンソーシアム「巨大地震後の大破木造住宅におけるレジリエントシステム技術開発」研究会委員長

教育活動

教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
放課後・オフィスアワー等活用による個人レベルの対応	2012年04月～現在	担当授業に拘わらず、放課後・オフィスアワー等の活用を周知し、学生が能動的に質問や課題・レポートに関してディスカッションできる環境を構築した。学生の授業に臨む姿勢が変化し、現在では担当外授業の課題・レポートに関する質問等にもTAを交えて対応している。さらにここでは、建築士、建築施工管理士、宅建士等の資格取得に対する指導も行っている。
予習・復習課題の徹底指導	2013年04月～現在	予習課題は目的・目標を持った授業参加、復習課題は習熟度の向上を図る目的で予習・復習課題の徹底を実施している。特に、予習課題は効率的な授業展開が可能となり、教育目標の達成度向上に効果的である。
双方向授業の実践	2013年04月～現在	学生と同目線で事象を捉え、学生が疑問に思ったことや教員が掲げた課題解決に対して、対話・議論を通したコミュニケーションを図っており、学生は実社会で使える知識・理論が身につく、対象領域を深く理解することができている。ここには、ユーモアも必要で、

		学生の発言しやすい環境づくりが鍵となっている。
授業評価の活用とフィードバック	2013年04月～現在	学生の授業アンケート評価に基づき修正を行っている。この修正にはTAも交えて検討し、特に評価が厳しい建築力学関連における難易度に対しては、フィールドワークを含めた実社会での適用例や変形等の現象をビジュアルに捉え、いかに分かりやすく説明するか工夫を追及している。
フィールドワークの効果的な活用	2013年04月～現在	地域企業協力の下、習得した知識の適用・応用例を実際に目で見理解を深める現地見学及び調査を行って、現場の最前線を体験させている。建築施工絡みの事象も多いため、担当教員と連携を強化して対応している。
レポート作成能力の開発	2014年04月～現在	課題・レポートにける、誤字・脱字、日本語の使い方、形式、参考・引用文献の出典等を添削し、レポート作成能力の向上を促進している。本成果は卒業論文の作成に直結している。また、本指導に用いた資料や添削例をとりまとめ、テキストを作成した。
授業におけるプレゼンテーションの展開	2014年04月～現在	課題・レポート等の発表の機会をできる限り設け、プレゼンテーション能力の向上に努めている。相手に正確に熱意を持って物事を伝え、起承転結など話す順序を組み立てることや、主張の根拠となる具体的な事実やデータを示すことを指導している。
ゼミ・卒業研究合宿の活用	2014年04月～現在	春季および夏季休暇に3、4年生を対象に合宿を開催し、グループ検討、フリーディスカッション、プレゼンテーションを通して専門知識の習得を図るとともに、コミュニケーションならびにリーダーシップ能力を涵養している。
ポートフォリオの活用	2015年04月～現在	課題、レポート、プレゼンテーション、授業態度、試験、欠席回数等を、ポートフォリオとして半期の修学の軌跡をメタ評価させ、就学意欲および習熟度の向上につなげている。
PBL型教育の実践	2015年04月～現在	地方自治体および地域企業の協力を仰ぎ、地域住民理解の下、現地調査を通じた木造住宅の耐震診断を実施し、耐震補強計画を提案している。昨年度は耐震診断を3棟実施し、内1棟は耐震補強工事に至り実際の施工経験を通じた地域貢献を体験した。ここには実戦経験を伴った授業展開が必要であり、教員の実務経験の必修性を認識した。
ICTを活用した授業展開	2015年04月～現在	画像・動画を積極的に活用し、授業で使用した資料の共有化や課題・レポートの進捗およびその指導・指摘が閲覧できるようにしており、ポートフォリオも確認できるように対応している。個人情報扱いは十分配慮し、活用している学生も多く、就学意欲および習熟度の向上につなげている。また、習熟度の低い学生に対しては、補講にTeams・Zoomを使用し、資料提供・質問対応を通して理解の向上を図っており、録画機能により何時でも視聴できるようにしている。
PBL型ゼミ・卒業研究指導の展開	2015年04月～現在	地方自治体や地域企業のニーズにマッチングしたテーマ選定により、自治体・商工会や地域企業の協力の下、課題解決型ゼミ活動や卒業研究の実施が可能となり、研究成果を地域貢献につなげている。また、学生の地域に対する意識向上が図れ、地元企業への就職を通して地方創生に大きく貢献している。昨年度は、「木造住宅の制震構造標準化」が大きな成果を上げた。
ティーチングアシストの活用	2016年04月～2025年03月	チーティングアシスト（TA）を活用し、TAを通じた授業内のコミュニケーションを図ることが、学生の授業理解度向上に役立っており、授業アンケートでも教学面で大きな役割を果たしていることが確認できた。また、TAとしての経験を通じて自らの教育力を高めることで、自身のキャリア形成の一助となっている。
反転授業による主体的学習意欲の向上	2018年04月～現在	基礎知識においては学部生の授業での修得を通じた予習をさせ、輪講による解説および質疑応答、グループワークによる課題解決とプレゼンテーションにより、理解度の向上と主体的学習意欲の向上につなげている。授業終了時に大学院生との意見交換会により、反転授業による予習の充実と、学習意欲ならびに理解度の向上につなげていることを通じて担当授業の高評価を得ている。
2 作成した教科書、教材、参考書		
要点プリント（授業用教材）	2014年04月～現在	各週1コマ（90分）×15週分の授業要点プリントをテキストとして作成した。各授業でマスターしなければならない内容を簡潔にまとめ、毎年の更新を図っている。
演習プリント（予習・復習）	2014年04月～現在	授業に対する意識付けを目的とした予習用と、授業の理解・習熟度向上を目的とした復習用の演習プリントを作成し、毎年TAを交えての更新を図っている。特に予習演習プリント（課題）は、授業進行上非常に有効なアイテムとなっている。
実務画像集（授業用教材）	2014年04月～現在	力の流れや部材の破壊現象を捉えることができ、理論や公式が実際の実務でどのように活用されているのか、建築構造物の安全・安心の確保、そして人命・財産の確保のための構造の必要性を説明する図・写真集であり、特に写真は毎年の更新を図っている。また、建築施工・を担当していた時期に、施工状況の動画を工程別に作成し、授業の理解度を深めた。
レポートの書き方（授業用教材）	2014年04月～現在	日本語の表現方法、フォーマット、参考・引用文献の書き方、注意すべき例、背景・目的からまとめまでの思考の進め方等、レポートを書くために必要なルール・条件等を体系的にまとめた。添削の際にも本教材の参照箇所を示し、有効的に活用している。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

4 その他教育活動上特記すべき事項		
巨大地震を想定した「レジリエント木造住宅システム」技術説明会および公開実験の開催	2026年02月18日	地域住民を対象とした防災対策技術説明会ならびに公開実験を開催。 。学生の日頃の研究成果を学生が主体となり発表。 https://drive.google.com/file/d/1gikvC6trtV327rNg0NXh9pVQrkSN48FF/view https://drive.google.com/file/d/1TtbQwe6xgGZqfHRL1GzyZ8IVUyEYRwly/view
愛知県立鳴海高校フィールドワーク	2026年08月05日	愛知県立鳴海高校を対象に、木造建築物の耐震設計に関するフィールドワークを実施 https://arch.aasa.ac.jp/1269/
5 大学運営		
AI・データサイエンス教育センター運営委員	2025年04月～現在	
高大連携・学習IR運営委員	2025年04月～現在	
建築学部教務委員	2025年04月～現在	
文化創造研究科教務委員	2026年04月～現在	
Ⅴ 資格・免許・特許等		
資格・免許		
1987年03月31日	高等学校教諭一種免許	旧 高等学校教諭2級普通免許、教科：工業 昭62高2普第11103号（東京都教育委員会）
1988年02月18日	二級建築士	第23926号（愛知県知事）
1991年01月21日	一級建築士	第227064号（国土交通省）
1994年11月30日	宅地建物取引士	第94230573号（不動産適正取引推進機構）
2001年11月17日	床上操作式クレーン	第134-3113号（日本クレーン協会兵庫支部）
2001年12月02日	玉掛	第121-3833（日本クレーン協会兵庫支部）
2002年01月22日	管理業務主任者	第01-44822号（高層住宅管理業協会）
2008年05月20日	アーク溶接	第5354号（加古川労働基準協会）
2009年07月07日	構造設計一級建築士	第7569号（国土交通省）
2010年01月15日	マンション管理士	第09050121号（マンション管理センター）
2012年08月30日	管理建築士	第21208304601003号
2017年06月26日	既存住宅状況調査技術者	第02204000061号（日本建築士会連合会）
2021年07月16日	一級建築施工管理技士	登録番号：B201006769（国土交通省）
2023年12月04日	フォークリフト	登録番号：第24号、終了章番号：7983（コベルコ教習所）
2025年08月28日	足場の組立て等作業主任者	第86152号（建設業労働災害防止協会愛知県支部）
2025年10月27日	介護職員初任者研修	愛知県知事指定 第23001003号
特許等		
1997年07月04日	特許第2668510号	P C 壁式工法における柱と梁の一体形成方法 出願番号 特願平6-225684 出願日 1994年8月26日 公開番号 特開平8-68105 公開日 1996年3月12日
2000年04月07日	特許第3054359号	多層階建物における既設柱の補強工法 出願番号 特願平8-93259 出願日 1996年3月22日 公開番号 特開平9-256645 公開日 1997年9月30日
2009年04月10日	特許第4288370号	ダンパー装置 出願番号 特願2006-106507 出願日 2006年4月7日 公開番号 特開2007-278411

2010年08月27日	特許第4573709号	公開日 2007年10月25日 バッシブダンパー 出願番号 特願2005-176797 出願日 2005年6月16日 公開番号 特開2006-349067 公開日 2006年12月28日
2011年06月03日	特許第4755853号	制振金物および木造住宅の接合部の構造 出願番号 特願2005-160842 出願日 2005年6月1日 公開番号 特開2006-336260 公開日 2006年12月14日
2011年07月15日	特許第4783627号	積層ゴム支承体 出願番号 特願2005-366637 出願日 2005年12月20日 公開番号 特開2007-170488 公開日 2007年7月15日
2015年07月17日	特許第5777036号	筋交い金物および木造建物の接合構造 出願番号 特願2014-089800 出願日 2014年4月24日 公開番号 特開2015-209643 公開日 2015年11月24日
2015年09月11日	第5803024号	筋交いダンパー構造 出願番号 特願2010-229263 出願日 2010年10月12日 公開番号 特開 2012-82611 公開日 2012年4月26日
2016年09月30日	特許第6010847号	仕口ダンパー及びその製造方法 出願番号 特願2016-016177 出願日 2019年1月29日 公開番号 特開2017-133308 公開日 2017年8月3日
2016年11月11日	特許第6037298号	エネルギー吸収機構 出願番号 特願2016-065051 出願日 2016年3月29日 公開番号 特開2017-179762 公開日 2017年10月5日
2019年12月27日	特許第6635607号	エネルギー吸収機構及び木造建物 出願番号 特願2017-227401 出願日 2017年11月28日 公開番号 特開2018-91128 公開日 2018年6月14日
2020年10月23日	直交集成材（CLT）せん断壁用のエネルギー吸収型耐せん断接合金具	証書番号 第11720007号（中国特許） 権利付与公告番号：CN 211735736 U 特許番号：ZL 2019 2 2402157.8
2020年10月23日	木構造用のエネルギー吸収型耐引張接合金具	証書番号 第11709276号（中国特許） 権利付与公告番号：CN 211735770 U 特許番号：ZL 2019 2 2406050.0
2020年10月23日	軽量木質支持用のエネルギー吸収構造	証書番号 第11712712号（中国特許） 特許番号：ZL 2019 2 2405987.6 権利付与公告番号：CN 211735769 U
2020年11月18日	CLT耐力壁用エネルギー吸収・耐せん断コネクター	特許番号：2020102733（オーストラリア特許）
2021年07月12日	特許第6912102号	エネルギー吸収機構及び木造建物 出願番号 特願2019-021908 出願日 2019年2月8日 公開番号 特開2019-108790 公開日 2019年7月4日
2022年04月05日	特許第7054183号	木造建物の構造 出願番号 特願2018-064386 出願日 2018年3月29日 公開番号 特開2019-173457 公開日 2019年10月10日
2023年05月12日	特許第7278587号	筋交い金物およびそれを用いた木造建物の接合機構 出願番号 特願2019-206131

		出願日 2019年11月14日 公開番号 特開2021-80635 公開日 2021年5月27日
2023年09月08日	特願2023-145805	相対変位表示装置、構造物 出願番号 特願2023-145805 出願日 2023年9月8日 公開番号 特開2025-039049 公開日 2025年3月21日
2023年09月27日	特許第7356695号	木造建物の構造 出願番号 特願2019-079433 出願日 2019年4月18日 公開番号 特開2020-176447 公開日 2020年10月29日
2023年10月10日	特許第7364267号	木造建物の構造 出願番号 特願2022-032204 出願日 2022年3月3日 公開番号 特開2022-088397 公開日 2022年6月14日
2023年10月23日	特許第7371837号	建築物の免震構造及び免震アンカー 出願番号 特願2019-211213 出願日 2019年11月22日 公開番号 特開2021-080796 公開日 2021年5月27日
2025年08月12日	特願2025-134481	木造軸組建物の壁構造、木造軸組建物、木造軸組建物の軸組工法
2025年08月18日	特願2025-135869	木造建物の補修又は補強方法、木造建物の壁構造
2025年10月21日	特願2025-177388	棺桶及棺桶の製造方法
2025年11月27日	特許第7780788号	木造建物の地震応答解析システム並びに木造建物の地震応答解析プログラム及び核プログラムを記録した記録媒体 出願番号 特願2021-148787 出願日 2021年9月13日 公開番号 特開2023-041418 公開日 2023年3月24日
2026年03月	直交集成板（CLT）耐力壁用のエネルギー消散型引張—せん断連成コネクタ	中国特許出願中